



2022年3月19日
兼松サステック株式会社

国産木材を使用した地盤補強工法『環境パイル工法』が 第30回地球環境大賞「環境大臣賞」を受賞

地盤調査・地盤改良事業など住宅・建材に関わる業務を行う兼松サステック株式会社(所在地：東京都中央区、取締役社長：小泉浩一、東証一部 証券コード7961)が第30回地球環境大賞「環境大臣賞」を受賞しました。当社は、国産木材を有効活用することにより、国内の林業活性化および、国産材の需要拡大に寄与してきました。環境パイル工法は、木材の成育過程で吸収したCO₂を数十年単位で地中貯蔵し、従来工法に比べCO₂排出量の抑制を可能にします。今後も環境負荷低減技術の「環境パイル工法」を通じ、全国展開をしている工法協会と共に関心と削減を目指します。

地球環境大賞は1992年(平成4年)「産業の発展と地球環境との共生」を目指して創設されました。企業、行政、市民が一体となった顕彰制度で、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン、名誉総裁・秋篠宮皇嗣殿下)の特別協力を得ています。地球温暖化の防止、循環型社会の実現に寄与する新技術・新製品の開発、環境保全活動・事業の促進、21世紀の社会システムの探求、地球環境に対する保全意識の一段の向上を目的としております。国際連合が掲げる「SDGs(持続可能な開発目標)」の理念とも一致した取組です。

環境パイル工法とは、高品質な防腐・防蟻処理による高耐久性を確保した木材を使用した地盤補強工法です。間伐材を含む国産材を使用しており、「環境パイル工法」として第三者認証も取得しています。最近では環境パイルの耐久性について、公益社団法人日本材料学会の「地盤改良に関わる技術認証制度」に評価申請を行い、技術評価されております。また2019年9月に「環境パイル工法」を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に向け、積極的に取り組むことを宣言しています。これまでに環境パイル(S)工法協会を通じて、累計棟数37,777棟、使用材積数は190,061立方メートルを達成しています。(2022年2月末時点)

■会社概要

商 号： 兼松サステック株式会社

代 表 者： 取締役社長 小泉 浩一

所 在 地： 〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町 3-3-2 トルナーレ日本橋浜町 6F

設 立： 1934 年 3 月

事業内容： ジオテック事業

(地盤改良工事、各種地盤調査、沈下修正工事等の施工・販売)

木材・住建事業

(木材保存処理加工・販売、木材保存処理装置および薬剤の販売等)

CCTV システム事業

(各種セキュリティ機器の販売、設置工事の施工・販売)

資 本 金： 33 億 2,560 万円

U R L： <http://www.ksustech.co.jp/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

兼松サステック株式会社 ジオテック事業部 技術部 環境パイル課

担当： 上條

T E L： 03-6631-6562